

事 務 連 絡
令和 4 年 4 月 2 1 日

報道機関 各位

函 館 市 病 院 局
管 理 部 庶 務 課 長

スーチャーレス大動脈弁置換術による治療について(取材依頼)

当局市立函館病院では、令和 4 年 4 月 5 日に心臓弁膜症の一つである大動脈弁狭窄症の患者へスーチャーレス大動脈弁置換術を実施し、成功いたしました。

『スーチャ(Suture)=縫う』+『レス(less)=ない』つまり『縫わない』生体弁を用いて外科開胸手術を行う方法で、今回、道南では初の実施および成功症例となります。

つきましては、取材報道についてよろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

なお、取材は担当医師がお受けする予定のため、日時を下記のとおりとさせていただきます。

※取材時は事前に下記までご連絡ください。

記

日 時 令和 4 年 4 月 2 7 日 (水) 1 9 時 0 0 分～

場 所 市立函館病院 精神棟 2 階応接室 (W e b 併用)

その他

- 1 W e b による取材をご希望の場合は下記連絡先へ e メールでご連絡願います。追ってミーティング I D 等をお知らせいたします。
- 2 術式詳細は別紙参照

以 上

【取材時連絡先】

函館市病院局管理部庶務課
(市立函館病院)

担 当 官 本

TEL 43-2000(内線 4209)

E-mail:hmh@hospital.hakodate.hokkaido.jp

大動脈弁狭窄症に対する新しい治療法

『スーチャーレス大動脈弁置換術』とは

心臓弁膜症の一つである『大動脈弁狭窄症』は、高齢化の影響もあり増加している心臓弁膜症の一つで、心臓から全身に血液を送り出す出口にある『大動脈弁』が硬くなることで開放が困難になり、心臓に負担がかかることで生じる病気です。『大動脈弁狭窄症』は重症になるまで症状が出にくいこと、症状が出てから急速に進行するため、適切な診断と適切な治療時期の判断が必要となります。

当院では、『大動脈弁狭窄症』に対する治療法として、従来の外科開胸手術に加え、循環器内科医師によるカテーテルによる治療（TAVI）を行っておりますが、今回、さらにこの二つの治療を組み合わせた治療（**スーチャーレス大動脈弁置換術**）を2022年4月から開始いたしました。『スーチャーレス大動脈弁置換術』とは、これまで12針程度の糸で固定していた生体弁をステントというバネで固定することで、これまでの『大動脈弁置換術』に比較して心臓を停止させておく時間を短くすることが可能となり、身体への負担の軽減が期待できる手術方法です。

当院において、『大動脈弁狭窄症』の治療方法の選択肢が増えたことは患者様にも我々医療従事者にも朗報ですが、治療にはそれぞれの利点・欠点があります。そのことを十分に踏まえた上で、患者様の状態や背景を詳細に検討し、患者様にとって最適な治療法を提供していきたいと考えております。